

No.8-2005

平成17年8月30日発行

## 8月例会を終えて



8月19日(金)に協働大町ビル6階千秋の間において8月例会を当LOM初?の三役・事務局の担当で事業報告会・懇親会という形式で開催いたしました。

『語り合おう、共に創り上げる夢を』をテーマに、今年度の今までの委員会活動と今後の事業予定を各委員会より報告戴き、互いに語り合う事によって会員相互の交流を図り、各委員会事業への理解を得ることが出来たと思います。また、各委員会メンバーの皆様には壇上で話していただく事で御自身のJCに対する思いや、今までのJC活動の感想など色々とアピールする事が出来た方もいらっしゃるれば、JCスクールの3分スピーチを思い出された方など様々だと思います。

今回の例会は第35回秋田ブロック会員大会の打ち上げという意味もあつての懇談会と言う形式でしたので開場全体が盛り上がり、大変有意義な時間を過ごしていただき、そして今後の活力を育む事の出来た例会であったと担当としては思っ

ています。これからもこのような例会を開催すれば委員会内だけでなくメンバー全員の絆が強まると思いました。

最後になりましたが、当日お忙しい中御参加下さいましたメンバーの皆様、本当にありがとうございました。

事務局長 武藤 寿



## 人間力大賞2次審査会開催



去る8月31日、魅力ある方々を発掘し人間力大賞と受賞者の素晴らしさを多くの人に広めるという目的のもと、人間力大賞2次審査会が、シャインプラザ平安閣にて開催されました。30数名のエントリーのもと6月23日に行われた1次審査会で4名の方々が選ばれましたが、今回は更にこの中から1名の人間力大賞受賞者を選ぶというとても難しい審査でありました。

この難しい審査は、佐竹敬久秋田市長代理木内鑑生企画調整部部长、栗田実NHK秋田放送局局長、第1回秋田青年会議所TOYP大賞受賞者澤田修明様、2002年度日本青年会議所人間力大賞受賞者館岡美果子様、大門孝秋田商工会議所青年部会長、畠山敏美港商友会会長、谷口理事長、松村直前理事長、渡部副理事長の9名の方々により行われました。

審査の進行は各担当者が5分間のプレゼンテーションを行い、審査員から質疑を出していただき、各候補者への点数の集計にて受賞者を決定するというものでし

た。各審査員から十分に質疑が出た後、慎重な審査をしていただきましたが、各候補者の活動がとても優れているため優劣を決める事は難しかったのですが、僅差にて今年の大賞受賞者が決定いたしました。

審査員からの講評として、形式上の課題はあるとしても、人間力大賞を行うことであきたという地域がらばっている若者を発掘し、多くの地域住民をご紹介する事は地域の活性化にも繋がるので今後もがんばって続けていただきたいという嬉しいコメントもいただきました。

尚、受賞者の詳細についてはこちらにて報告はできませんが、11月15日に予定している表彰式にて発表いたします。皆様多くのご出席、何卒宜しくお願いします。  
人間力大賞委員会 副委員長 時田祐司



## 地球温暖化防止事業【打ち水作戦inあきた】

8月27日土曜日、秋田市通町商店街において地球温暖化防止事業の打ち水作戦inあきたを開催いたしました。打ち水を行うことで、気化熱作用で1~2℃気温が下がるといわれています。

皆様ご承知のとおり、誰もが手軽に参加できる地球温暖化防止のための環境運動として近年、全国各地で打ち水大作戦が行われています。私たちの住む秋田にもこの運動を根付かせたいとの想いで企画実践いたしました。

はじめての取り組みということもあり、至らぬ点多々ありましたが、開催場所の通町商店街の皆様をはじめ多くの皆様にご協力いただき、一石を投じることは出来たように思います。

我々秋田青年会議所は、全国に先駆けてのクリーンアップ作戦、旭川でのサケの稚魚放流事業など今まで様々な環境事業を行ってまいりましたが、昨今関心と呼んでいる地球温暖化問題は経済社会活動、国民生活全般に深く関わるもので、今後の取り組みが最も必要とされている課題だと考えております。

「一人一人の小さな取り組みが、大きな成果を上げる」  
我々環境行動推進委員会では青年会議所としてこのような切り口から事業を推進する事が責務であると考え、『打ち水大作戦inあきた』と『あきたCO2削減ウィーク』のふたつの事業を企画しました。

この原稿を執筆している今現在(8月30日)CO2削減ウィークは実施期間中ではありますが、このふたつの事業を通じて、我々秋田青年会議所のメンバーはもちろん地域の皆様にも、日常の小さな積み重ねが、地球温暖化防止の一助となることに気づいて頂けたらと考えております。

環境行動推進委員会  
委員長 佐藤尚二



## 竿燈まつりでこことここのコミュニケーション



竿燈まつり本番の昼間に開催される妙技会へは、10年以上前から参加しております。この妙技会の大若団体規定演技にてAチーム（卒業生1名を含むOBチーム）が初めて決勝トーナメントに出場することが出来ました。尚、Bチーム（現役チーム）は、最後の腰の演技まで行うことが出来たものの予選敗退という結果でした。来年は、小若（子供）も妙技会に参加する予定です。

最後に今年も観客と数多くのふれあい（コミュニケーション）が出来たことをご報告させていただきます。99年から観客とのコミュニケーションツールとして使用済みローソクとお札をセットにして観客に差あげております。まつりは、楽しい物ですが、見るだけよりは参加する方が更に楽しいはず。こころのふれあいをする事により見ている人も一緒にまつりに参加して戴けるよう心がけております。今後もお札などのコミュニケーションツールを活用して、楽しい竿燈まつり・あきたの魅力を発信して行きたいと思っております。

まつり本番は4日間ですが、まつりは、準備・練習・そして本番・最後の後片づけ迄が本当のまつりです。今年度は、会員ひとり一人が責任を持ち主旨に賛同して戴いたことで多くの感動が生まれた事でしょう。皆さんもあきたの魅力・「竿燈まつり」に一度は参加されませんか。ありがとうございました。

秋田青年会議所竿燈会 第八代目代表 青井 智

「多くの感動をありがとう」竿燈まつりの際には多大なるご協力ご支援を賜りました事に対し、御礼申し上げます。ありがとうございました。

本年度のJC竿燈会は、「こころのふれあいを・・・共に楽しもう あきたの魅力 竿燈まつり！」をスローガンに、秋田の伝統芸能であり国の重要無形文化財である竿燈まつりを通じ、郷土のすばらしさを体験すると共に、人と人・こことここのコミュニケーションを図りながら、『あきたの魅力とその感動』を内外へ広げる事を目標と致しました。

その多くの感動のいくつかをご紹介させていただきます。まず初めに、国際教養大学（AIU）様を全面的にサポートさせて頂きました。98年にミネソタ州立大学秋田校（MSU-A）様と一緒に竿燈まつりへ参加した際からお付き合いのある「ジョン・モック先生」が、AIUで竿燈を上げたいとの思いから実現いたしました。学生及び職員は、JCメンバー以上に熱心に準備・練習・本番に参加されました。1年目ですので技術的には、まだ課題が有りますが、来年は妙技会にも是非参加して戴きたいと思っております。

次にJC竿燈会は22年の歴史が有り、



## 卒業生コラム 相馬 修一君

### 12年前、何の団体か よくわからずに入会

最初の委員会連絡は、「何月何日から北海道で委員会があるから予定を空けておくように、全員参加だから」断ることも許されないまま、私のJC生活が、スタートした。

体育会系上下関係、先輩の言ったことは絶対の世界、まさか社会人になっても、こんなに厳しい団体があるとは。とんでもない所に入ってしまったと思った。

朝まで酒を飲んで、そのまま会社に出勤、仕事しながら委員会の連絡確認。今思うとよく出来たと思う。

私の運営幹事のころは、FAXを送って電話で出席確認をした時代で、電話しても外出中で、なかなか出席確認が取れず大変な思いをした。

卒業にあたって、JC生活を振り返ってみると、その時はいやで辛かったと思った事が、逆に良い勉強をさせて貰っていたんだと思う。

JCに入会してから卒業するまで、約12年もいたということ自体信じられない。いろんな先輩の卒業を見てきたが、自分が卒業する立場になったとい



うことが、いまだにピンとこないが、先輩から、しごかれながら、いろんなことを教わることが出来たことは、JC生活の中でとても幸せだと思う。

後輩の皆様、今は大変かもしれませんが、JC活動がんばってください。

組織進化検討委員会 相馬修一

## 定時総会開催のお知らせ

9月13日(火)午後5時30分より、秋田キャッスルホテル4F放光の間において定時総会が開催されます。みなさんにはぜひ出席して、会員としての意思を直接

示して戴きたいと思っております。早い時間からの開催ですが、何卒出席して戴きますようお願い申し上げます。  
総務交流委員会 副委員長 田口正人

## 9月例会のお知らせ

9月13日18:35から秋田キャッスルホテルにおいて9月例会を開催いたします。

地球温暖化問題は、我々秋田青年会議所が長年とり組んできた環境行動のなかでも、今、最も重要な課題であると考えます。秋田市環境部環境企画課の三浦良

幸氏をお招きし、地球温暖化について学び、私たちに何が出来るのか、そして何をすべきなのかを考える例会にいたします。

環境行動推進委員会 委員長 佐藤尚二

## 編集後記

夜中に陣痛が始まった。そのまま病院に行って言われるままに腰をさすったり、水飲ませたり。

朝方の5時過ぎ、妻のおなかから男の子がおはようございます。母子ともに健康です。

男でも良いけど、女でも良い。健康でも良いけど、障害があっても受け止めよう。でも、でも、やっぱり

無事でなによりなにより。

妻に感謝。子に感謝。親に感謝にご先祖様に感謝。病院の方に感謝して、神様に感謝。ありがとうございました。

情報戦略推進委員会 相場隆広